

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

管理職養成学校ニュース



2022年2月15日発行 (No.6) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

全受講生が卒業発表を無事に終えました！



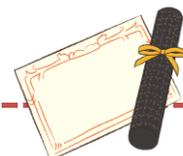
1月27日、たかつガーデンにて、2021年度社会福祉経営全国会議管理職養成学校の第1期「卒業発表・中長期事業計画」が開催されました。8月に開校した管理職養成学校もいよいよこの日、最終日を迎えました。

今回の学校は全国会議として初めての学校。コロナ感染予防に努める中でほとんどの講座がオンラインで開催されたという「初めて」の多い学校となりました。

受講生を送り出してくださった各法人の推薦者の方々及び講師の先生方と、多数の来賓の方々に修了証書授与まで参加していただきました。



無事に航海を終えた18名の卒業生
おめでとうございます！



<1部卒業発表>

今回は「卒業発表」「ゼミ発表」「修了式」の3部構成となっており、1部の「卒業発表」では、受講生それぞれの法人、事業所の中長期計画をプレゼンテーションするという内容でした。過去4回の講座で、「管理職の役割」、「社会福祉法人の在り方」、「組織運営」、「財務管理」について学んできました。そして、本講座のねらいとしては以下の3点です。

- ① 権利としての社会福祉の発展を目指す法人・施設として、地域の中で求められる役割を踏まえた中長期計画を作成発表する。
- ② 長期計画の作成にあたって、プロジェクトチームを組織し、意見を引き出す力、考えを表現する力、意図を伝える力など、管理職として必要な資質を高める。
- ③ 理事会等での事業計画報告や予算の審議等、管理職に必要な発信力を高める。



今回のプレゼンは準備段階として、受講生個々の職場内でチームを組み、前回の講義後に SWOT 分析、SWOT クロス分析、BSC 表をさらに見直す作業から、プレゼンの発表内容である中長期事業計画に繋げていただきました。財務の視点を取り入れたうえで、自分の言葉でまとめられた事業計画です。オンライン開催の締めくくりとして、各自パネルやパワーポイントを利用しての発表でした。どの受講生もこの間の蓄積されてきた学習の成果が伝わる堂々とした発表で、プレゼンテーション力が成果として発揮されていることに驚かされました。事業計画自体も、それぞれ生きた財産となるようなものばかりで、数年後に、今回の計画が各地域で実際に花開くことが大いに期待できるように感じました。



PowerPoint などを利用し聞いている方々に分かりやすいハイレベルな発表が多数！

<2 部ゼミ発表>

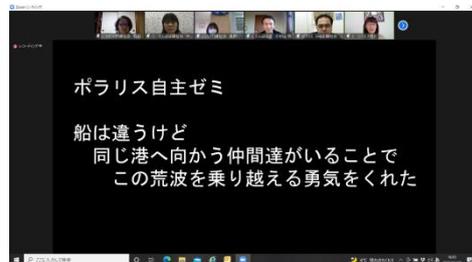


第3講座以外は仲間と対面で講座を受けることができなかった今回の養成学校ですが、マイナスをプラスに変えて！の受講生の皆さんはオンラインで自主ゼミを開催し、予習・復習のみならず、職場の悩みやコロナの状況も大いに交流してきました

航海に例えられているこの養成学校の受講生は講座という港に到着します。1つの講座が終わればまた次の港に向かいます。荒波のなか航海に出ている受講生の書く日誌は「航海日誌」と名付けられています。航海日誌にコメントし合って、受講生は励まし合ってグループのきずな

も深まってきました。そんな3グループのゼミ発表、

オンラインでの公開でしたが、成長物語あり、人生の応援歌あり、俺流儀の生き方宣言ありの卒業発表が無事終わりました。集団での学びの成果ここにあり！当日公開だけではもったいない気がしました。



<第3部修了証書授与>

受講生への修了証書授与。一人一人の名前を学校担任から名前を読み上げられ、グループのリーダーが全国会議茨木会長より修了証書を授与されました。後日受講生のもとへ届けられます。長期にわたる学校の課題を成し遂げた受講生の姿が画面越しからでも輝いていて印象的でした。



養成学校校長の浜岡先生より式辞を頂きました。



この学校の特徴が、知識の伝授だけではなく「学び方の学び」「学んだことの活かし方」に力を入れてきた学校であること。それは、他者を説得するために限られた時間内で知を駆使するプレゼンテーションやフィールドワークなどのカリキュラムに表されています。

また、「社会情勢の学び方」について、情勢は法人外の外部環境情勢と法人内部の内部環境情勢の組み合わせとして理解され、この2つの環境をどのように一体的に分析するかが管理職の課題となりますが、これをつなげるためには外部環境を全国と地域に分けて、

マクロ（全国）—メゾ（地域）—ミクロ（自法人）の3つのレベルで、20～30年といった超長期の傾向の中で今を捉えることが大切です。そういう視点で情勢を捉えてこそ今が見えてくるからです。と話されました。

そしてこの学校で身につけた根拠に基づいた「仮説—実践—検証」という仕事のスタイルは、事業や活動・運動のあり方の改善・改革に効果を発揮されることでしょうと、半年間に及ぶ知的格闘の研究成果をともに喜び合い、法人の現場で生かして頂きたいとの祝辞を頂きました。

最後に受講生の学修を支えてくださった職場の皆さん、そして何よりも家族のみなさんにも感謝とお礼の言葉を申し上げたいと締めくくられました。

そして式典の最後には同友会時代からの管理職養成学校の基礎を築き上げていただきました黒田孝彦氏が今回で講師を退任されるとの事で、受講生に祝辞を頂いた後、事務局より、サプライズとして感謝を込めて、似顔絵とオリジナルTシャツをプレゼントさせていただきました。背中への文字にはもちろん！

「言葉が変われば習慣が変わる 習慣が変われば行動が変わる 行動が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」が英語で印字されていました。歴代の受講生皆さんが心に響いた言葉でもあります。



同友会から社会福祉経営全国会議へと移行した管理職養成学校。広範囲から受講していただいた第1期を無事に終えることができました。学校としては終了しましたが、卒業生の方々には権利としての社会福祉の新たな担い手として、今後各地域で羽ばたいていただきたいと思っております。

これまで、そしてこれからも権利としての社会福祉・社会保障の追求と、社会変革と事業の推進を目指す民主的経営の担い手を育成することが養成学校の目標であることには変わりません。全国の中でもその期待を担う存在として学校自体の航海も続いていくこととなりますので、今後ともよろしくお願い致します。

最後に18名の受講生の方々、半年間本当にお疲れ様でした。誰一人脱落することなく、第1期養成学校を18名全員で完走できたことは、事務局にとっても嬉しい出来事でした。皆様の学校での奮闘に敬意を表します。また、各受講生の送り出し法人、推薦人、講師の先生方におかれましても、長きに渡る学校へのご理解と、多大なるご支援、受講生へのサポートをありがとうございました。今回の第1期管理職養成学校に関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。

アフターフォロー企画 2022年4月28日（木）

「近況報告 グループワーク等」

